

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)

【公開番号】特開 2004-291564 (P2004-291564A)
 【公開日】平成 16 年 10 月 21 日 (2004.10.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-041
 【出願番号】特願 2003-90201 (P2003-90201)
 【国際特許分類第 7 版】

B 3 2 B 5/00
 B 2 9 C 63/34
 F 1 6 L 55/16
 // B 2 9 K 105:06
 B 2 9 L 9:00
 B 2 9 L 23:00

【F I】

B 3 2 B 5/00 Z
 B 2 9 C 63/34
 F 1 6 L 55/16
 B 2 9 K 105:06
 B 2 9 L 9:00
 B 2 9 L 23:00

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 6 月 15 日 (2005.6.15)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】発明の名称
 【補正方法】変更

【補正の内容】
 【発明の名称】結合ライナー

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更

【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

プラスチックフィルムの内外面に不織布を結着するとともに、外面に補強材又はスペーサを取り付けて構成されることを特徴とする結合ライナー。

【請求項 2】

前記補強材及びスペーサは、エキスパンドメタル又はラスで構成されることを特徴とする請求項 1 記載の結合ライナー。

【請求項 3】

前記補強材又はスペーサは、不織布を熱溶着又は接着することによって取り付けられることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の結合ライナー。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 1
 【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、結合ライナーに関するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

本発明は上記問題に鑑みてなされたもので、その目的とする処は、ライニング材に作用する引張力を補強材又はスペーサに負担させることによってライニング材の厚さを最小限に抑え、施工性の改善とコストダウンを図ることができるとともに、ライニング材と管路又はマンホールとの一体化を図ることができる結合ライナーを提供することにある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】削除

【補正の内容】